

令和2年7月1日

NIPTのよりよいあり方を考える有志
呼びかけ人 北里大学 齋藤有紀子 様
明治学院大学 柘植あづみ 様

日本産科婦人科学会
理事長 木村 正
倫理委員会委員長
三上幹男

「NIPTのよりよいあり方に関する提言」への回答書

平素、大変お世話になっております。

さて、このたびは「NIPTのよりよいあり方に関する提言」を日本産科婦人科学会にお送りいただきありがとうございます。非常に示唆の富む内容であり、これから私たちが実現すべきと考えていることを多く指摘いただいております。たいへんありがたく存じます。現時点での私たち学会の考えをまとめ、回答書としてここにお返事させていただきます。

1. NIPTをはじめとする出生前検査・診断の施策や指針の策定には当事者参画を求めます。

昨年6月の厚生労働省からの通知（令和元年6月21日、資料1）に「様々な議論があり、妊婦に不安が広がりがねないことなどから」とあることから、日本産科婦人科学会では、母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT）に関する指針（令和元年6月22日改定）に対する日本小児科学会の基本姿勢と人類遺伝学会からの意見表明を取り入れてさらなる指針の改定を行いました。その結果を両学会に送り両学会から「受け入れ可能、適切な形での支援は惜しまない」という返事をいただいたところであります。今後、厚労省に報告に行き、厚労省主導で行われる「母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT）に関する」審議会及びWGで検討いただきたいと考えております。その検討の際には、当事者の参加、発言の機会が保証された公開フォーラムなどが行われると考えており、皆様のご提言は、私たちとしても大歓迎であります。

2. 医療者は、NIPTの情報提供の際に、医療者自身の価値観を反映させないように留意し、女性の意思決定を尊重してください。

当事者の考え、気持ちに対する配慮が不十分な医師等の一言が妊婦に大きな影響を与えることに関しては、今後常に念頭に置き、NIPTに関わる医療従事者の教育を行っていく所存であります。また、検査前の意思決定の際に、この医療に従事しない、あるいは従事していても相談者と直接かかわらない、見識ある皆様が相談者としてご活動いただく仕組みを構築すること（項目5参照）は社会的サポートの充実の上で大変有意義と考えます。

3. 関連団体は、遺伝カウンセリングや妊娠・出産に関わる相談体制の質を確保するために医療者の研修を充実してください。

日本産科婦人科学会では、日本産科婦人科遺伝診療学会及び日本小児科学会、日本人類遺伝学会のサポートを頂き、提言2と3の内容を含めて研修の充実をはかる所存であります。さらに、これに関しては厚生労働省に設置されているNIPTの研究班の中の分科会「遺伝カウンセリング研修プログラムの評価と改善」でも継続して検討を行っていく予定になっております。

4. 行政機関は、母子保健、障害者福祉、教育、子育て支援、女性の健康支援等に関わる情報を、医療者や妊婦が利用・閲覧しやすいよう、まとめてください。

私たちもそのように考えます。私たちは産婦人科医、小児科医、遺伝専門医と異なる医師の立場からサポートができるように、配布する説明書を合同で作成し、どこの認定施設に受診しても同じ説明書を用いて、説明するように指導を行う所存であります。その際に異なる立場・観点より作成頂いた資料でさらに情報提供をできることは非常に大切であると考えております。

5. 医療機関は、確定診断で陽性となり、意思決定支援が必要な女性へのケアを充実してください。

日本産科婦人科学会、日本産科婦人科遺伝診療学会、日本小児科学会、日本人類遺伝学会の連携のもと、産婦人科医のみでなく、遺伝専門医、小児科医を含む医師としてのできる限りのサポートを実現するためのプラットフォームを構築した改定をいたしました。さらに、医師を介さずに相談可能な体制も必要でしょう。「NIPTのよりよいあり方を考える有志」の皆様には、そのような仕組みの構築（注）に向けて、国や社会に働きかけて頂くことを希望いたします。もちろん私たちからの協力は惜しみません。

6. 検査を取り巻く社会的問題は妊婦とパートナーに負わせず、平等な社会を築くかたちで解決すべきです。

私たちもそのように考えます。社会に向けて働きかけを行っていきたく考えます。

7. 国・行政・関連団体は、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの実現を重視してください。

私たちもそのように考えます。リプロダクティブ・ヘルス／ライツの実現は、女性の生涯にとって極めて重要なことであり、その実現に向けて努力していく所存であります。

(注)：一般社団法人全国妊娠SOSネットワーク (<https://zenninnet-sos.org/>) は、担当医師を介さずに相談可能なシステムを全国で構築・展開されております。ホームページは、「妊娠したけど「やったー！うれしいー！」と喜べないいろいろな事情を抱えたあなたの力になりたいと思って作られたものです」と書かれております。このような団体との連携を貴有志グループにおいても具体的にご考慮いただければと考えます。

以上。